

(参考)

平成24年3月期 第2四半期連結決算概要

平成23年 11月2日
三井化学株式会社

(単位：億円)

1. 損益状況

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減	平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (11/2発表値)	増 減
売上高	6,728	7,558	830	13,917	15,100	1,183
営業利益	174	287	113	405	500	95
経常利益	146	279	133	389	510	121
当期純利益	171	134	△ 37	249	260	11
(参考) 当期純利益 (除 退職給付引当金戻入額)	25	134	109	103	260	157
為替レート 円/US\$	89	80	△ 9	86	79	△ 7
国産ナフサ価格 円/KL	46,200	57,000	10,800	47,500	54,000	6,500

	10~3月予想
為替レート	77
国産ナフサ価格	51,000

2. セグメント別 売上高・営業利益 ・売上高

(単位：億円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減			平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (11/2発表値)	増 減
			計	数量差	価格差			
石化	2,112	2,274	162	△ 26	188	4,340	4,660	320
基礎化学品	2,060	2,671	611	153	458	4,357	4,990	633
ウレタン	712	650	△ 62	△ 37	△ 25	1,448	1,380	△ 68
機能樹脂	526	578	52	21	31	1,062	1,210	148
加工品	655	696	41	34	7	1,320	1,410	90
機能化学品	569	598	29	43	△ 14	1,198	1,270	72
その他	94	91	△ 3	△ 4	1	192	180	△ 12
合計	6,728	7,558	830	184	646	13,917	15,100	1,183

・営業利益

(単位：億円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減				平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (11/2発表値)	増 減
			計	数量差	交易条件	固定費他			
石化	62	65	3	△ 11	24	△ 10	128	130	2
基礎化学品	65	183	118	25	92	1	204	240	36
ウレタン	△ 43	△ 71	△ 28	△ 10	△ 43	25	△ 90	△ 120	△ 30
機能樹脂	45	47	2	-	△ 4	6	72	105	33
加工品	12	22	10	2	△ 2	10	14	40	26
機能化学品	45	55	10	12	△ 6	4	100	120	20
その他	1	△ 6	△ 7	-	-	△ 7	2	△ 5	△ 7
全社費用等	△ 13	△ 8	5	-	-	5	△ 25	△ 10	15
合計	174	287	113	18	61	34	405	500	95

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減	平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (11/2発表値)	増 減
資産売却益	3	2	△ 1	7	2	△ 5
退職給付引当金戻入額	146	-	△ 146	146	-	△ 146
環境対策引当金戻入額	-	22	22	-	22	22
固定資産処分・売却損	△ 16	△ 8	8	△ 29	△ 27	2
減損損失	△ 6	-	6	△ 22	-	22
関連事業損失等	△ 7	-	7	△ 10	-	10
投資有価証券評価損	-	△ 3	△ 3	△ 7	△ 3	4
その他	△ 10	△ 14	△ 4	△ 24	△ 14	10
合計	110	△ 1	△ 111	61	△ 20	△ 81

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H23/3末	H23/9末	増 減		H23/3末	H23/9末	増 減
流動資産	6,660	6,684	24	有利子負債	4,807	4,728	△ 79
有形固定資産	4,677	4,536	△ 141	その他負債	3,838	3,735	△ 103
無形固定資産	113	126	13	自己資本	3,837	3,872	35
投資等	1,506	1,477	△ 29	少数株主持分	474	488	14
資産計	12,956	12,823	△ 133	負債純資産計	12,956	12,823	△ 133

(D/Eレオ) (1.25) (1.22) (△ 0.03)

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減	平成23年	平成24年	増 減
				3月期実績	3月期 業績予想 (11/2発表値)	
営業キャッシュ・フロー	356	330	△ 26	732	750	18
投資キャッシュ・フロー	△ 177	△ 222	△ 45	△ 432	△ 700	△ 268
(フリーキャッシュ・フロー)	(179)	(108)	(△ 71)	(300)	(50)	(△ 250)
財務キャッシュ・フロー	22	△ 162	△ 184	△ 201	△ 150	51
その他	△ 6	△ 2	4	△ 18	-	18
現預金等増減	195	△ 56	△ 251	81	△ 100	△ 181

6. 主要指標

		平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減	平成23年	平成24年	増 減
					3月期実績	3月期 業績予想 (11/2発表値)	
研究開発費	億円	183	160	△ 23	362	350	△ 12
減価償却費	億円	339	310	△ 29	692	670	△ 22
設備投資額	億円	221	210	△ 11	451	600	149
金融収支	億円	△ 27	△ 21	6	△ 54	△ 45	9
期末有利子負債残高	億円	4,995	4,728	△ 267	4,807	4,800	△ 7
期末従業員数	人	12,860	12,823	△ 37	12,782	13,000	218
連結会社数	社	95	100	5	95	102	7

7. 当期のトピックス

- ・ Acomon社(スイス)：プラスチックメガネレンズモノマーの製造・販売会社 買収 (平成23年4月)
- ・ 市原工場：1-ヘキセン製造プラント 営業運転開始 (平成23年4月)
- ・ 佛山三井化学ポリウレタン(中国)：ポリウレタンフォーム用原料 営業運転開始 (平成23年5月)
- ・ イハラプラス社(ブラジル)：農薬の製剤製造・販売会社 株式取得 (平成23年9月)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名 三井化学株式会社
 コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 田中 稔一
 (氏名) 裾分 啓士
 配当支払開始予定日

TEL 03-6253-2100
 平成23年12月2日

上場取引所 東

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	755,764	12.3	28,748	65.6	27,888	91.0	13,365	△22.0
23年3月期第2四半期	672,823	22.4	17,357	—	14,604	—	17,126	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 13,203百万円 (45.0%) 23年3月期第2四半期 9,108百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.34	—
23年3月期第2四半期	17.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,282,290	436,026	30.2
23年3月期	1,295,627	431,101	29.6

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 387,166百万円 23年3月期 383,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,510,000	8.5	50,000	23.3	51,000	31.3	26,000	4.6	25.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	1,022,020,076 株	23年3月期	1,022,020,076 株
----------	-----------------	--------	-----------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	20,146,957 株	23年3月期	20,097,891 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	1,001,893,288 株	23年3月期2Q	1,002,251,141 株
----------	-----------------	----------	-----------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、以下のとおりネットコンファレンス及び経営概況説明会を開催する予定です。各説明会の様子を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年11月2日(水)……機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンス

・平成23年11月8日(火)……経営概況説明会

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日の6か月間。以下「当四半期」という。）における事業環境は、引き続き経済成長するアジア地域の需要が堅調に推移したことに加え、国内では、東日本大震災の影響により低迷していた個人消費やサプライチェーンの分断に伴う生産活動の低迷が回復しつつある一方、歴史的な高水準が継続する円高及び欧州の財政危機などにより、厳しい状況となりました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	7,558	287	279	134
前年同四半期	6,728	174	146	171
増減額	830	113	133	△37
増減率	12.3%	65.6%	91.0%	△22.0%

売上高は、前年同四半期に比べ830億円増（12.3%増）の7,558億円となりました。これは、基礎化学品事業及び機能製品群における主にアジア地域での需要回復に伴う販売数量増加の影響が184億円、ナフサなどの原燃料価格上昇による販売価格の改定及び基礎化学品事業の市況改善による販売価格上昇の影響が646億円あったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ113億円増（65.6%増）の287億円となりました。これは、基礎化学品事業及び機能製品群における販売数量の増加、石化事業及び基礎化学品事業における交易条件の改善に加え、固定費の減少などによるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ133億円増（91.0%増）の279億円となりました。これは、円高による為替差損が増加したものの、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益が増加したことなどによるものです。

特別損益は、環境対策引当金戻入額を22億円計上した一方、震災による災害損失を14億円計上したことなどにより、前年同四半期に比べ111億円減の1億円の損失となりました。なお、前年同四半期は、退職給付制度の見直しに伴い、特別利益として146億円の退職給付引当金戻入額を計上しておりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ22億円増（8.6%増）の278億円となりました。

四半期純利益は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ37億円減（22.0%減）の134億円となり、1株当たり四半期純利益金額は13.34円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(石化)

石化セグメントは、全体として売上高が増加しました。

エチレン及びプロピレンは、生産量が前年並みとなりました。

ポリエチレン及びポリプロピレンは、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ162億円増の2,274億円、売上高全体に占める割合は30%となりました。また、営業利益は、交易条件の改善により、前年同四半期に比べ3億円増の65億円となりました。

(基礎化学品)

基礎化学品セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

フェノールは、中国を中心とするアジア地域における需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

ビスフェノールAは、主要用途であるポリカーボネート樹脂及びエポキシ樹脂向けを中心とする堅調な需要により、売上高が好調に推移しました。

高純度テレフタル酸は、需要の伸長による販売数量の増加及び原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が好調に推移しました。

ペット樹脂（ポリエチレン テレフタレート）は、本年4月の帝人化成株式会社との事業統合効果が寄与し、売上高が好調に推移しました。

エチレンオキサイド及びその誘導品は、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ611億円増の2,671億円、売上高全体に占める割合は35%となりました。また、営業利益は、一部製品を除く販売数量の増加及び好調な市況により、前年同四半期に比べ118億円増の183億円となりました。

（ウレタン）

ウレタンセグメントは、全体として売上高が低調に推移しました。

ポリウレタン材料は、鹿島工場が震災により本年5月中旬まで生産を停止（その後の定期修理を経て6月下旬操業再開）したことに加え、震災による国内自動車市場の需要低迷及び中国の需要減少の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

コーティング材料は、震災による鹿島工場の被災に伴う生産停止及び国内自動車市場の需要低迷の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

接着材料は、国内向け軟包装用接着剤の需要は堅調に推移したものの、液晶関連市場向け接着剤の需要低迷及び中国等アジア地域の需要減少の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

成形材料は、震災復興に伴う建築土木関連需要拡大への期待感による堅調な国内需要の影響を受け、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ62億円減の650億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業損失は、販売数量の減少と円高による輸出採算悪化の影響を受け、前年同四半期に比べ28億円増の71億円の損失となりました。

（機能樹脂）

機能樹脂セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、アジア地域を中心とする自動車及び産業材需要の拡大に的確に対応し、売上高が好調に推移しました。

機能性コンパウンド製品は、包装材用途を中心にアジア・欧州地域での堅調な需要拡大があったものの、自動車・電子部品用途等で主に震災に伴う需要低迷の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

特殊ポリオレフィンは、電子情報関連用途を中心とする需要拡大により、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ52億円増の578億円、売上高全体に占める割合は8%となりました。また、営業利益は、原燃料価格上昇及び円高の影響を受けた一方、固定費の減少により、前年同四半期に比べ2億円増の47億円となりました。

（加工品）

加工品セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

衛生材料は、中国・東南アジア地域における紙おむつの需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

半導体材料は、半導体市場の需要拡大が本年7月以降低迷に転じたものの、売上高が堅調に推移しました。

エネルギー材料は、太陽電池封止材市場の需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

包装用フィルムは、震災による前倒し需要の反動により、本年7月以降は需要が減速したものの、値上げ効果により売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 41 億円増の 696 億円、売上高全体に占める割合は 9%となりました。また、営業利益は、販売数量の増加及びコスト削減等により、前年同四半期に比べ 10 億円増の 22 億円となりました。

(機能化学品)

機能化学品セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

ヘルスケア材料は、メガネレンズ用材料の旺盛な海外需要及び本年 4 月のスイス Acomon 社の買収効果が寄与したことにより、売上高が好調に推移しました。

特殊ガスは、平成 21 年秋の事故により生産を停止していましたが、昨年夏に一部操業を再開したため売上高が増加した一方、**化成品**は、不採算品目整理の影響を受け売上高が減少しました。

触媒は、円高の影響により売上高が伸び悩みました。

農業化学品は、震災の影響により昨年度出荷予定の品目が今年度に繰り越されたため、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 29 億円増の 598 億円、売上高全体に占める割合は 8%となりました。また、営業利益は、一部製品の需要回復等により、前年同四半期に比べ 10 億円増の 55 億円となりました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 3 億円減の 91 億円、売上高全体に占める割合は 1%となりました。また、営業損益は、前年同四半期に比べ 7 億円悪化の 6 億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ 133 億円減の 1 兆 2,823 億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ 182 億円減の 8,463 億円となりました。また、**有利子負債**は 79 億円減の 4,728 億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ 0.2 ポイント改善の 36.9%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ 49 億円増の 4,360 億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ 0.6 ポイント増の 30.2%となりました。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率 (D/E レシオ)**は、前期末に比べ 0.03 ポイント改善の 1.22 となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ 56 億円減少し、当四半期末には 755 億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ 26 億円減の 330 億円となりました。前年同四半期と比べて減少したのは、税金等調整前四半期純利益は増加したものの、在庫の増加等による運転資金の増加などがあったことによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ 45 億円増の 222 億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、新たな成長戦略による子会社株式及び投資有価証券等の取得による支出が増加したことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用された資金は、162 億円となりました。これは、有利子負債の返済や、少数株主への配当金の支払いなどによるものです。なお、前年同四半期において財務活動によって調達された資金は 22 億円であり、これは有利子負債の調達を行ったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(業績の見通し)

平成23年8月4日に公表いたしました連結通期業績予想につきましては、以下のとおり修正を行っております。

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期79円(10月～3月77円/\$)、国産ナフサ価格は通期54,000円/k1(10月～3月51,000円/k1)を前提としております。

この結果、売上高は、円高の影響等により、前回発表予想数値から減少する見込みです。

また、営業利益は、全社的なコスト削減等により固定費の減少が見込まれるものの、ウレタン部門における取引条件の悪化により、前回発表予想数値から減少する見込みです。

なお、平成23年5月11日公表のとおり、中間配当は「3円」とし、期末配当予想は「3円」とさせていただきます。これにより、年間配当予想は「6円」となります。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	15,800	520	530	280
今回修正予想	15,100	500	510	260
増減額	△700	△20	△20	△20

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上高								合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	4,820	5,310	1,530	1,220	1,450	1,280	190	—	15,800
今回修正 予想	4,660	4,990	1,380	1,210	1,410	1,270	180	—	15,100
増減額	△160	△320	△150	△10	△40	△10	△10	—	△700

(単位：億円)

	営業利益								合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	125	235	△80	100	50	110	△10	△10	520
今回修正 予想	130	240	△120	105	40	120	△5	△10	500
増減額	5	5	△40	5	△10	10	5	—	△20

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

従来より、環境対策を目的とした支出に備えるために環境対策引当金を計上しておりましたが、相当程度の工事の進捗に伴い、より精緻な見積りが可能となったため、見積りの変更を行いました。これに伴い、当第2四半期連結会計期間において、従前の見積り金額と今回の見積り金額との差額を収益として認識しました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は2,194百万円増加しております。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,219	51,777
受取手形及び売掛金	264,420	261,427
たな卸資産	239,931	259,396
繰延税金資産	4,971	5,183
未収入金	66,505	58,174
その他	9,372	33,147
貸倒引当金	△442	△684
流動資産合計	665,976	668,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	314,773	316,557
減価償却累計額	△202,502	△206,307
建物及び構築物（純額）	112,271	110,250
機械装置及び運搬具	1,025,295	1,038,163
減価償却累計額	△865,120	△881,310
機械装置及び運搬具（純額）	160,175	156,853
土地	166,431	166,305
建設仮勘定	21,005	12,470
その他	60,641	61,762
減価償却累計額	△52,788	△54,003
その他（純額）	7,853	7,759
有形固定資産合計	467,735	453,637
無形固定資産		
投資その他の資産	11,293	12,614
投資有価証券	98,973	98,800
繰延税金資産	3,436	3,614
その他	49,542	45,886
貸倒引当金	△1,328	△681
投資その他の資産合計	150,623	147,619
固定資産合計	629,651	613,870
資産合計	1,295,627	1,282,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,823	190,546
短期借入金	103,092	104,450
1年内返済予定の長期借入金	23,787	29,280
コマーシャル・ペーパー	7,400	3,300
1年内償還予定の社債	21,000	20,000
未払法人税等	4,979	5,459
役員賞与引当金	79	47
修繕引当金	11,728	5,939
資産除去債務	161	—
その他	73,249	79,930
流動負債合計	442,298	438,951
固定負債		
社債	113,000	113,000
長期借入金	211,733	202,096
繰延税金負債	12,848	11,132
退職給付引当金	54,528	53,817
役員退職慰労引当金	341	270
修繕引当金	2,324	3,254
環境対策引当金	10,650	7,712
資産除去債務	2,215	2,221
その他	14,589	13,811
固定負債合計	422,228	407,313
負債合計	864,526	846,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	201,692	212,045
自己株式	△14,254	△14,261
株主資本合計	403,556	413,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,490	6,860
繰延ヘッジ損益	120	△42
為替換算調整勘定	△31,426	△33,554
その他の包括利益累計額合計	△19,816	△26,736
少数株主持分	47,361	48,860
純資産合計	431,101	436,026
負債純資産合計	1,295,627	1,282,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	672,823	755,764
売上原価	568,029	640,949
売上総利益	104,794	114,815
販売費及び一般管理費	87,437	86,067
営業利益	17,357	28,748
営業外収益		
受取利息	77	109
受取配当金	1,101	1,379
持分法による投資利益	2,787	4,276
その他	2,815	2,764
営業外収益合計	6,780	8,528
営業外費用		
支払利息	3,911	3,562
為替差損	2,625	2,962
その他	2,997	2,864
営業外費用合計	9,533	9,388
経常利益	14,604	27,888
特別利益		
固定資産売却益	274	246
投資有価証券売却益	32	6
退職給付引当金戻入額	14,618	—
環境対策引当金戻入額	—	2,194
特別利益合計	14,924	2,446
特別損失		
固定資産処分損	1,560	780
固定資産売却損	66	9
減損損失	575	36
関連事業損失	701	—
投資有価証券評価損	80	353
災害による損失	—	1,380
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	970	—
特別損失合計	3,952	2,558
税金等調整前四半期純利益	25,576	27,776
法人税等	5,088	6,888
少数株主損益調整前四半期純利益	20,488	20,888
少数株主利益	3,362	7,523
四半期純利益	17,126	13,365

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,488	20,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,188	△4,643
繰延ヘッジ損益	△29	△267
為替換算調整勘定	△5,330	△2,833
持分法適用会社に対する持分相当額	△833	58
その他の包括利益合計	△11,380	△7,685
四半期包括利益	9,108	13,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,379	6,420
少数株主に係る四半期包括利益	2,729	6,783

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,576	27,776
減価償却費	32,060	30,183
のれん償却額	1,860	844
減損損失	575	36
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,247	△709
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△33,019	1,628
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	428	△401
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△3,288	△4,859
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△264	△2,938
受取利息及び受取配当金	△1,178	△1,488
支払利息	3,911	3,562
持分法による投資損益 (△は益)	△2,787	△4,276
投資有価証券売却損益 (△は益)	△32	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	80	353
有形固定資産除却損	675	272
固定資産売却損益 (△は益)	△208	△237
売上債権の増減額 (△は増加)	13,926	3,461
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,005	△19,898
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,768	△5,918
その他	10,759	10,856
小計	45,548	38,241
利息及び配当金の受取額	2,161	2,935
利息の支払額	△3,971	△3,528
法人税等の支払額	△8,102	△4,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,636	32,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,555	△15,532
有形固定資産の売却による収入	384	663
無形固定資産の取得による支出	△485	△988
長期前払費用の取得による支出	△477	△222
投資有価証券の取得による支出	△389	△4,846
投資有価証券の売却及び償還による収入	569	253
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,583
その他	△738	1,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,691	△22,241

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,908	1,485
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	11,300	△4,100
長期借入れによる収入	944	4,078
長期借入金の返済による支出	△10,754	△8,297
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△10,011	△11,000
少数株主からの払込みによる収入	44	—
自己株式の売却による収入	28	4
自己株式の取得による支出	△56	△18
配当金の支払額	△3,007	△3,005
少数株主への配当金の支払額	△2,107	△5,309
その他	△63	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,226	△16,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	△595	△130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,576	△5,626
現金及び現金同等物の期首残高	72,962	81,119
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△11
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,538	75,482

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	計		
売上高									
外部顧客への売上高	211,180	205,987	71,228	52,634	65,518	56,883	663,430	9,393	672,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60,915	11,941	2,000	7,773	158	2,480	85,267	25,477	110,744
計	272,095	217,928	73,228	60,407	65,676	59,363	748,697	34,870	783,567
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,157	6,511	△4,305	4,454	1,234	4,508	18,559	122	18,681

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,559
「その他」の区分の利益	122
セグメント間取引消去	108
全社費用(注)	△1,432
四半期連結損益計算書の営業利益	17,357

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない戦略研究開発等に係る研究開発費等であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	計		
売上高									
外部顧客への売上高	227,377	267,068	64,975	57,839	69,628	59,791	746,678	9,086	755,764
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72,573	13,509	2,151	7,036	49	2,907	98,225	29,547	127,772
計	299,950	280,577	67,126	64,875	69,677	62,698	844,903	38,633	883,536
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,533	18,294	△7,125	4,693	2,172	5,520	30,087	△589	29,498

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	30,087
「その他」の区分の損失（△）	△589
セグメント間取引消去	41
全社費用（注）	△791
四半期連結損益計算書の営業利益	28,748

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。